

② 緊急速報「災害時情報共有プラットフォーム」

市では、災害時の情報共有を目的とした「災害時情報共有プラットフォーム」を運用しています。災害時に必要な情報をリアルタイムで確認できます。



▲「災害時情報共有プラットフォーム」はこちら

③ 直方市公式LINE

災害時は避難情報の受信ツールとして活用できます。LINEのトーク画面が、災害画面に変わります。

また、避難情報が更新され次第、トーク画面に配信されます。



※画像は開発中のものです

01.検索から登録

- ① LINE ホーム画面右上の「+」アイコンをタップ
- ② 「検索」をタップ
- ③ 友だち検索画面の「ID 検索」から「@nogata_city」を入力し、「直方市公式LINE」アカウントを検索
- ④ アカウントをタップし、「友だち追加」をタップ

02.QRコードで登録

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- ① LINE ホーム画面右上の「+」アイコンをタップ
- ② 「QRコード」をタップ。カメラが起動します
- ③ 「QRコード」を読み取る
- ④ 「直方市公式LINE」アカウントが表示されたら「友だち追加」をタップ

※LINE 利用にあたっての注意

- ① 利用にはSNS アプリ「LINE」のインストールおよび利用者ご自身のアカウント登録が必要です。
- ② 利用は無料ですが、通信料等は利用者の負担となります。



▲直方市公式LINE

④ テレビのデータ放送 (dボタン)



テレビ番組視聴中にリモコンの「dボタン」を押すと、最新の気象情報や河川の水位情報、自治体から発令される避難情報等がデータ放送で確認できます。

⑤ ちよっくラジオ (86.1MHz)



コミュニティ FM局「ちよっくラジオ」(86.1メガヘルツ)でも、避難情報等が発信されます。

⑥ インターネット検索

▼キキクル (危険度分布・雨雲の動き等)

大雨による災害発生の危険度の高まりを地図上で確認できます。

▼遠賀川ライブカメラの防災情報

河川の水位や河川カメラの画像を確認できます。

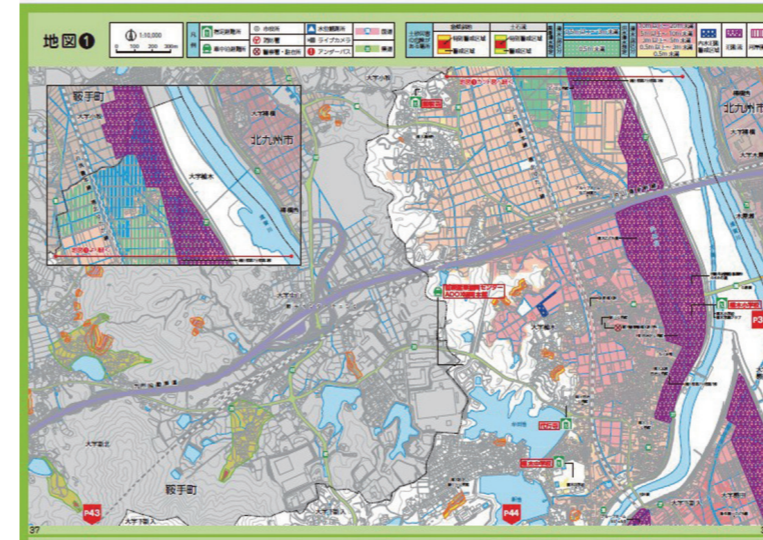


災害に備えるために

特集 突然やってくる災害に備えて

ハザードマップで自宅周辺の状況確認

風水害に備えるにあたり、事前に自宅周辺の危険箇所や避難場所、避難経路を確認することが大切です。



洪水浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域とは

洪水浸水想定区域とは、河川の氾濫により自宅等の浸水が想定される区域。家屋倒壊等氾濫想定区域とは、想定最大規模の降雨による洪水時に家屋の流失・倒壊をもたらす恐れがある区域。

土砂災害警戒区域・特別警戒区域とは

がけ崩れや土石流、地滑り等の土砂災害が発生する恐れがある区域。ハザードマップでは、福岡県が指定した「急傾斜地の崩壊」と「土石流」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を掲載しています。

※ハザードマップがお手元がない場合は、市庁舎 3階 35番窓口 (防災・地域安全課)で配布しています。

ハザードマップ (直方市防災ブック) はこちら ▶



情報を得るための手段の確保

① 防災アプリ「ふくおか防災ナビ・まもるくん」

福岡県が防災情報をいち早く知らせるため、独自の防災アプリを配信。アプリ内の「マイエリア」を「直方市」に設定することで市が発令している避難情報や避難所の開設状況を確認できます。また、ご自身や家族等の安否情報の登録・確認ができます。

